

# 経理の働き方白書 2025

[ 増補改訂版 ]

1000人に聞いた  
経理のリアルな業務内容と年収



# 経理の働き方白書とは

経理部門は企業経営を支える重要な役割を果たしながらも、その働き方や業務内容には多くの課題が存在しています。本白書は、経理担当者の「働き方・業務内容・年収」の実態に焦点を当てて実施した調査の結果をまとめたものです。「柔軟な働き方×付加価値の高い役割を実現している経理の年収」など、経理のキャリアとして参考となり得るデータを収録。さらに、柔軟な働き方と付加価値の高い役割との相関性や、年収との関連性にも着目し、経理の働き方のヒントを提示します。

## 調査概要

- [ 調査名 ] 経理DX推進に関する調査
- [ 調査対象 ] 全国在住の男女18歳～69歳
  - 職業：会社員     職種：財務／会計／経理
  - 役職：一般社員／課長クラス／部長クラス
- [ 調査数 ] 1084名

# 目次

## 第 1 章 経理の実態

働き方 .....	P. 4
業務内容 .....	P. 5
年収（年代別） .....	P. 6
年収（経験年数別） .....	P. 7
年収（役職別） .....	P. 8

## 第 2 章 経理の理想と現実

経理部門にとって付加価値の高い重要な役割 .....	P. 10
付加価値の高い重要な役割の実現 .....	P. 11
付加価値が高いと考える業務に対する時間の捻出 .....	P. 12

## 第 3 章 経理の働き方と年収の関連性

柔軟な働き方と付加価値の高い重要な役割の関連性 .....	P. 14
柔軟な働き方と年収の関連性 .....	P. 15
付加価値の高い重要な役割と年収の関連性 .....	P. 16
柔軟な働き方、および付加価値の高い重要な役割と年収の関連性 .....	P. 17
刊行に寄せて .....	P. 18

# 第 1 章

## 経理の実態

働き方

業務内容

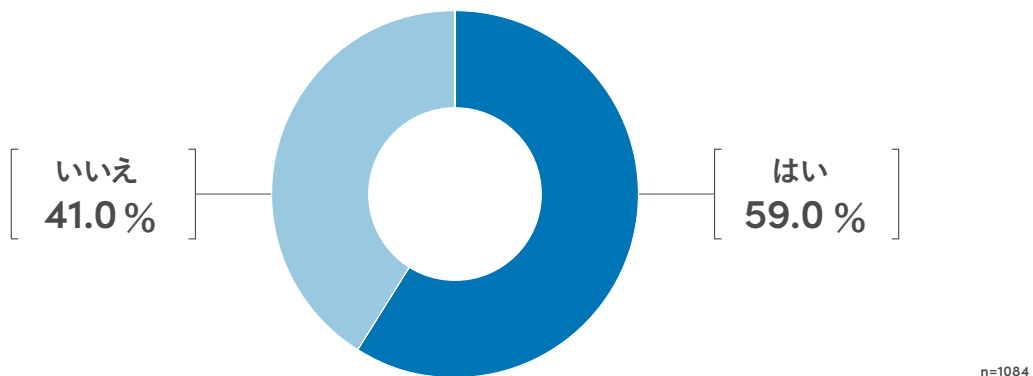
年収（年代別）

年収（経験年数別）

年収（役職別）

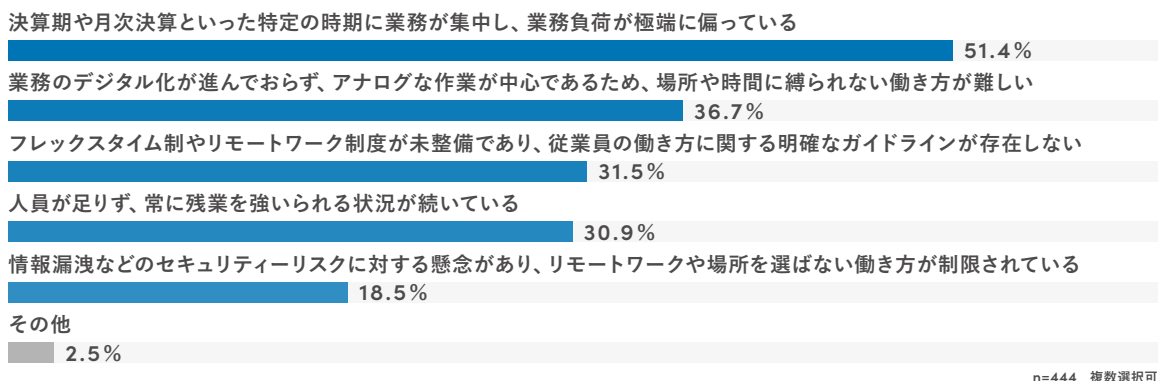
## 働き方

Q：あなたに合った柔軟な働き方ができていますか。



約6割の人が、柔軟な働き方ができていると回答。一方、約4割の人が柔軟な働き方ができていないと回答した。

Q：柔軟な働き方ができていないその原因は何ですか。

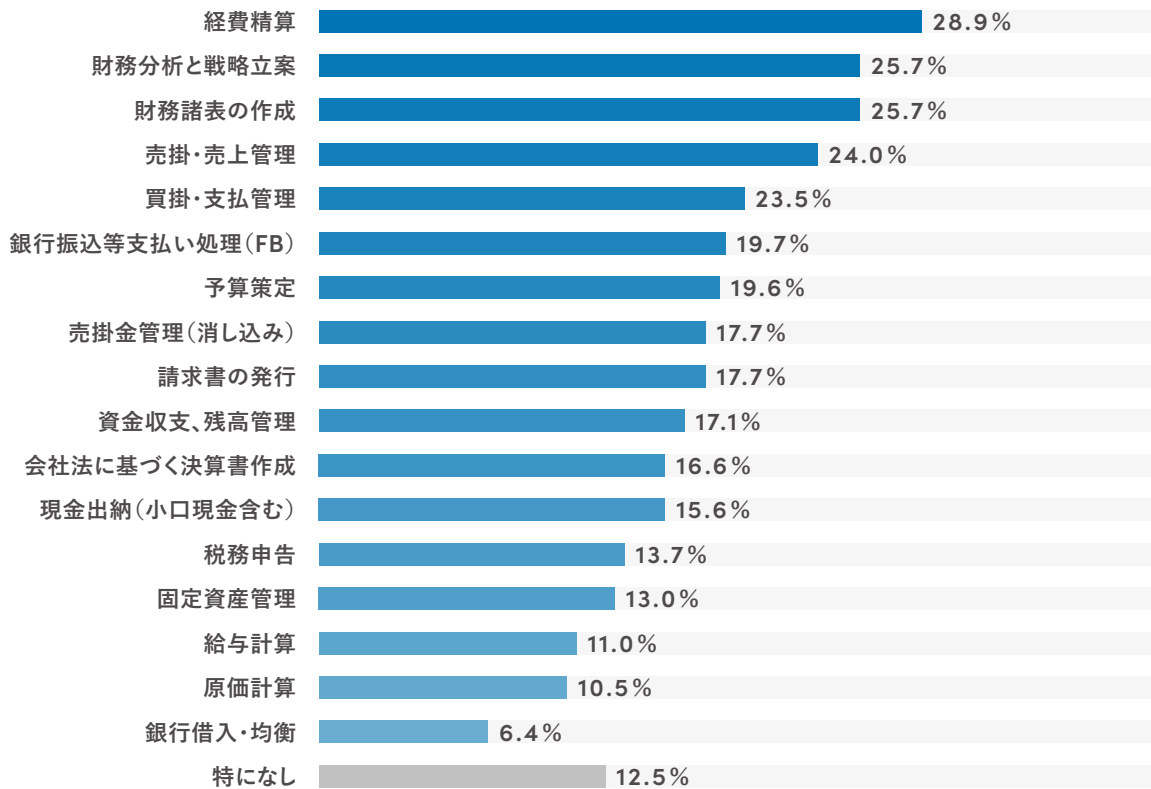


「柔軟な働き方ができていない」と回答した人のうち、半数以上の人々が、決算期や月次決算など、特定時期に業務が集中していることが原因だと選択した。

## 業務内容

Q：あなたが特に時間を要している業務内容は何ですか。

全体



n=1084 複数選択可

役職別 (全17項目中の上位3項目) ※「特になし」を除いて算出

[ 一般社員 ]

1位 経費精算	34.5%
2位 売掛・売上管理	27.0%
3位 買掛・支払管理	26.7%

n=603

[ 課長クラス ]

1位 財務分析と戦略立案	37.1%
2位 財務諸表の作成	36.2%
3位 予算策定	24.1%

n=315

[ 部長クラス ]

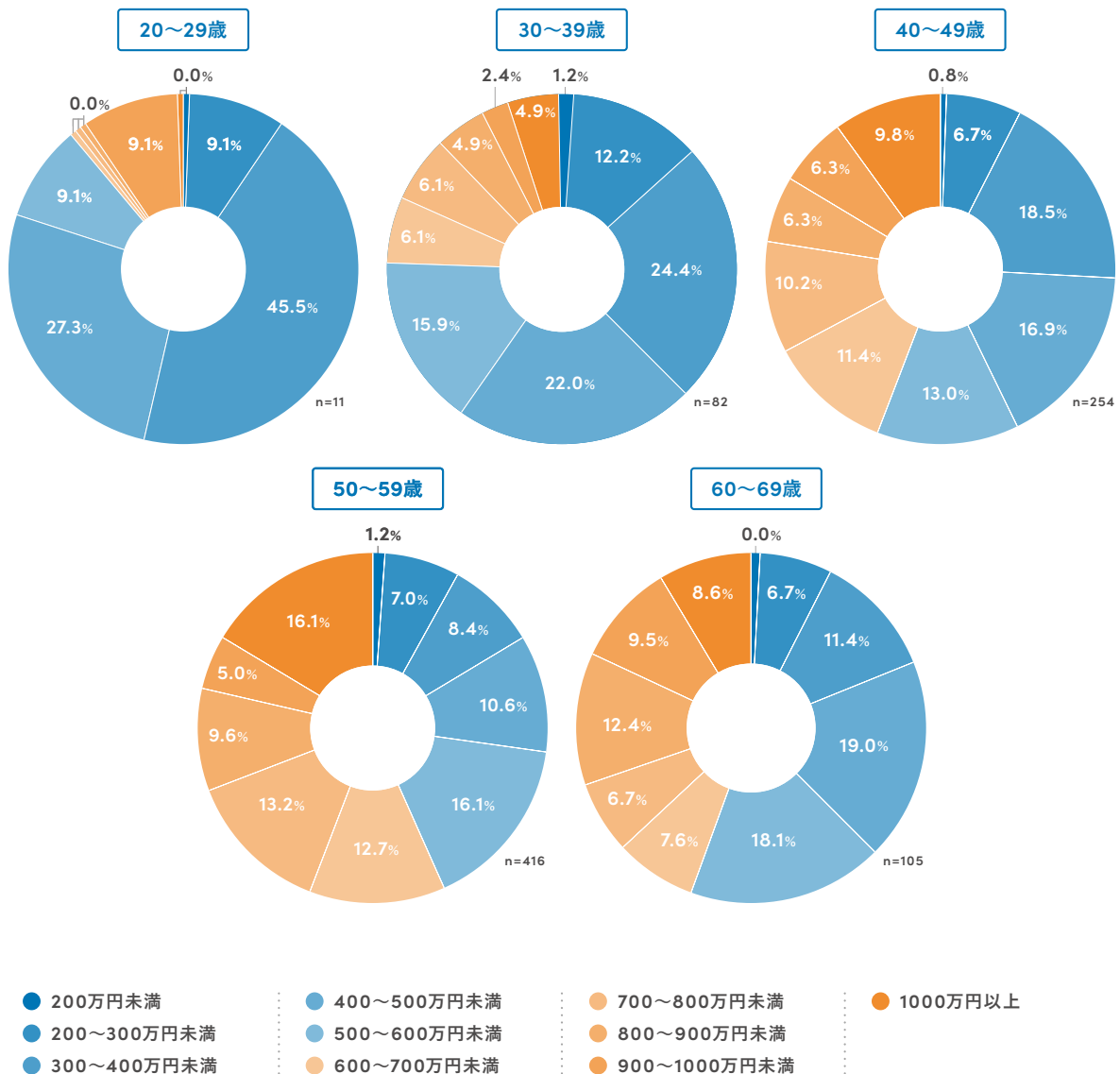
1位 財務分析と戦略立案	46.4%
2位 予算策定	33.7%
3位 財務諸表の作成	30.1%

n=166

「経費精算」「財務分析と戦略立案」「財務諸表の作成」が時間を要する業務の上位3項目となっている。一般社員と役職者では時間を要する業務の内容が異なっている。

## 年収 (年代別)

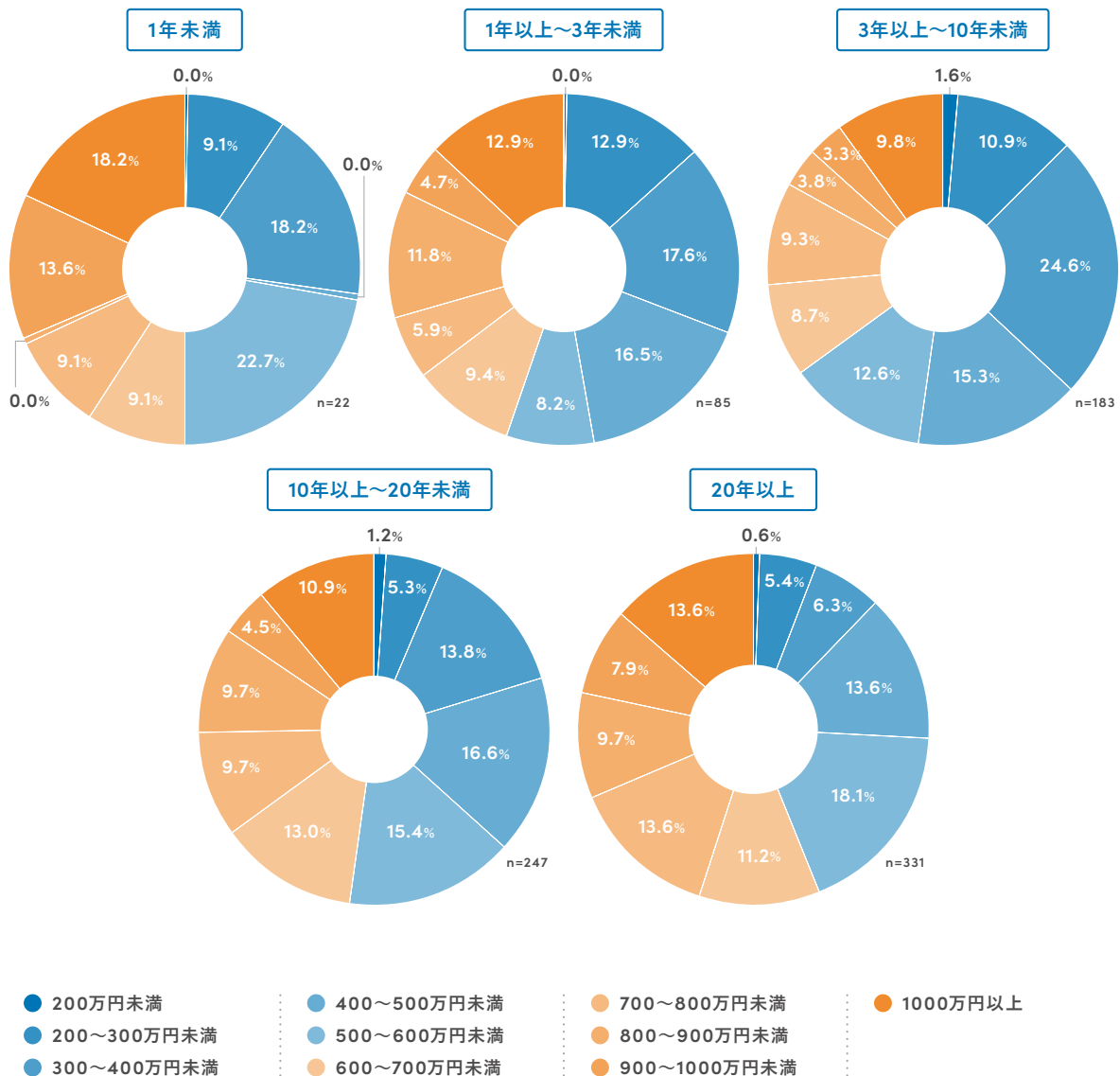
Q : 今の年収を教えてください。



経理職の年収は20代では400万円未満が中心だが、30代から50代へと、年齢が上がるにつれて上昇している。50代では1000万円超の割合が最も高くなる。

## 年収（経験年数別）

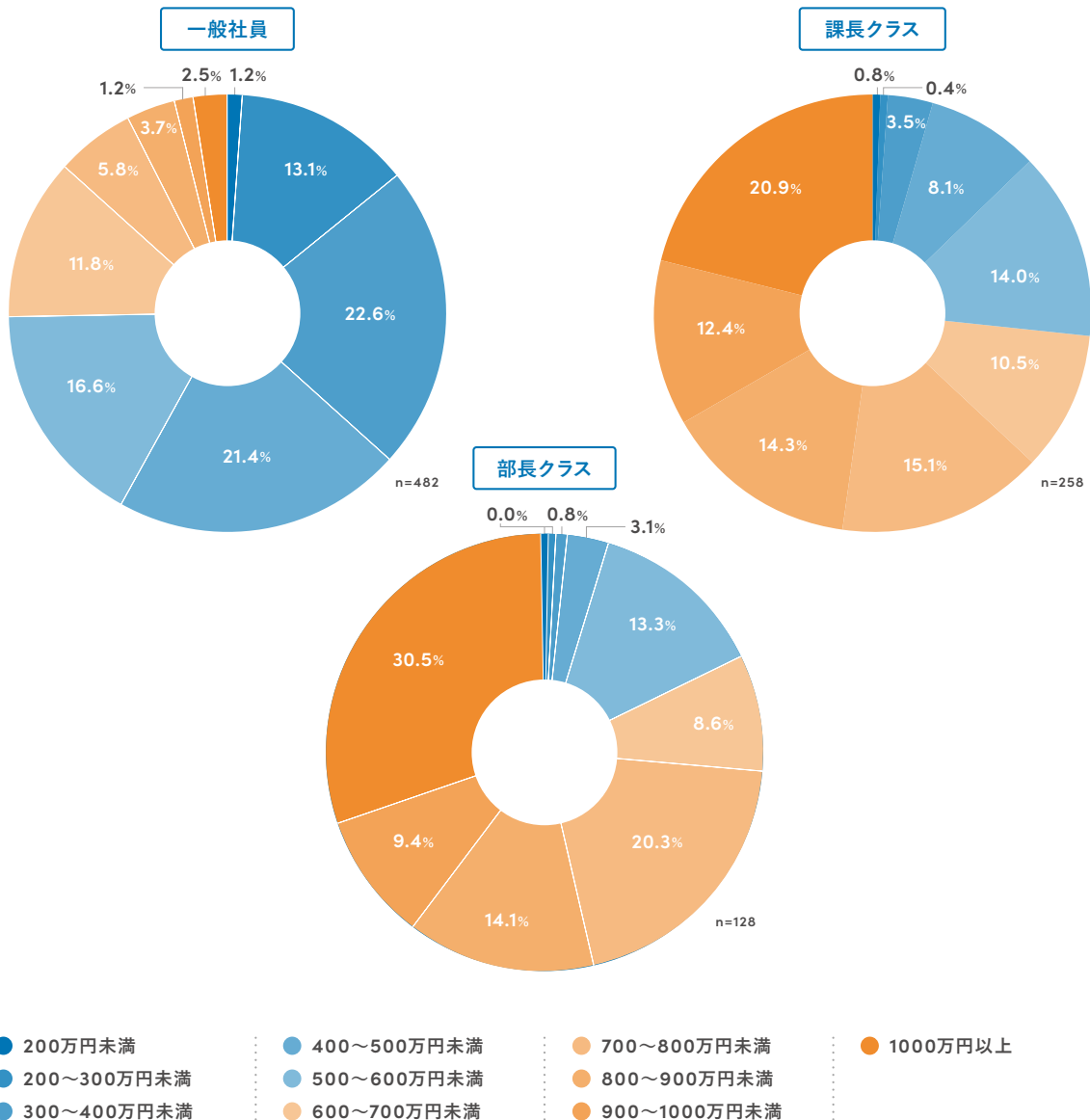
Q：今の年収を教えてください。



全体的な傾向としては、経験年数が増えるにつれて高年収帯の割合は増えているが、各年収帯を個別に見ると必ずしも経験年数に比例して増加していない。

## 年収（役職別）

Q：今の年収を教えてください。



一般社員は200万～600万円未満が多いが、課長・部長クラスは600万円以上の割合が増加。さらに、1000万円以上が最多となっている。

## 第 2 章

# 経理の理想と現実

経理部門にとって付加価値の高い重要な役割

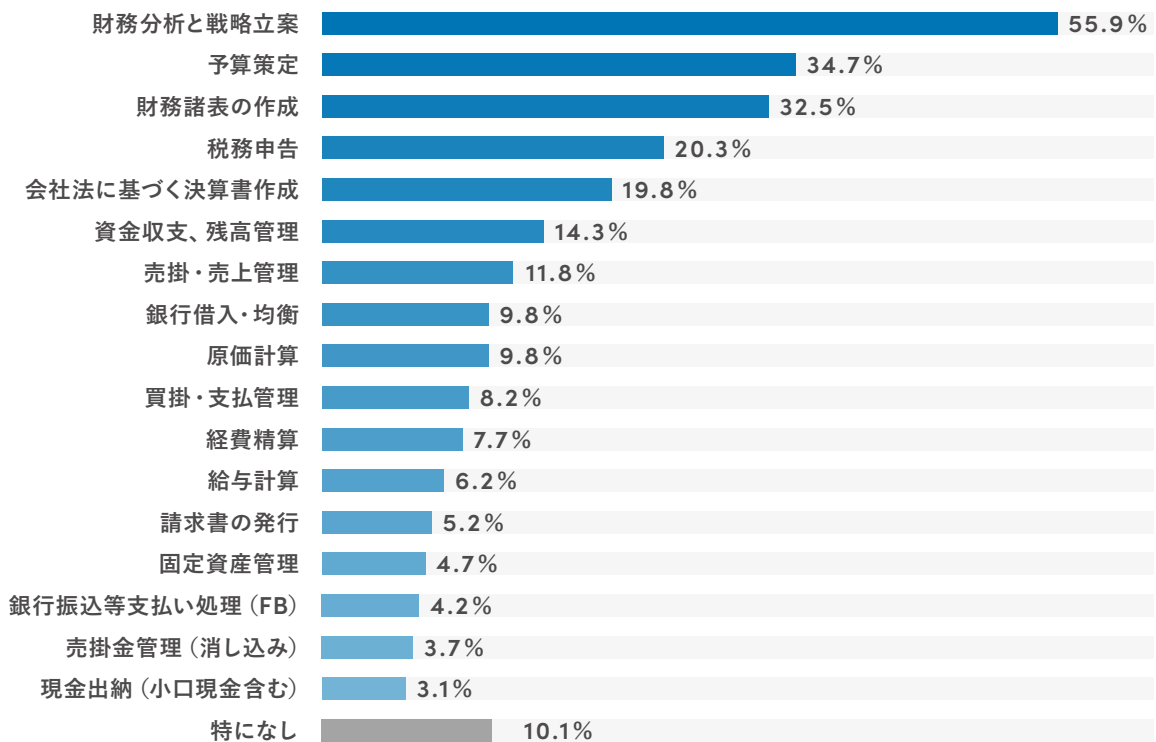
付加価値の高い重要な役割の実現

付加価値が高いと考える業務に対する時間の捻出

## 経理部門にとって 付加価値の高い重要な役割

Q：経理部門として付加価値の高い重要な役割と考えているものを3つ選択してください。

全体



n=1084 3項目を選択

役職別 (全17項目中の上位3項目) ※「特になし」を除いて算出

[ 一般社員 ]

1位	財務分析と戦略立案	46.4%
2位	予算策定	29.9%
3位	財務諸表の作成	28.7%

n=603

[ 課長クラス ]

1位	財務分析と戦略立案	66.3%
2位	予算策定	37.5%
3位	財務諸表の作成	36.5%

n=315

[ 部長クラス ]

1位	財務分析と戦略立案	70.5%
2位	予算策定	47.0%
3位	財務諸表の作成	38.6%

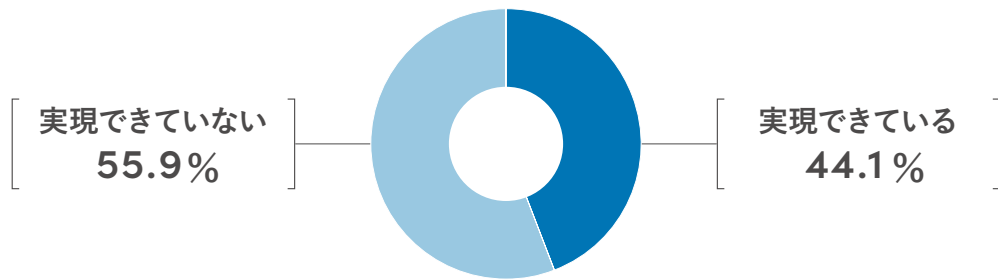
n=166

役職を問わず、「財務分析と戦略立案」は最も付加価値が高いと考えられている。

一方、時間を要している業務の上位である (P.5参照) 「経費精算」や「売掛・売上管理」「買掛・支払管理」は付加価値が高いとは捉えられていない。

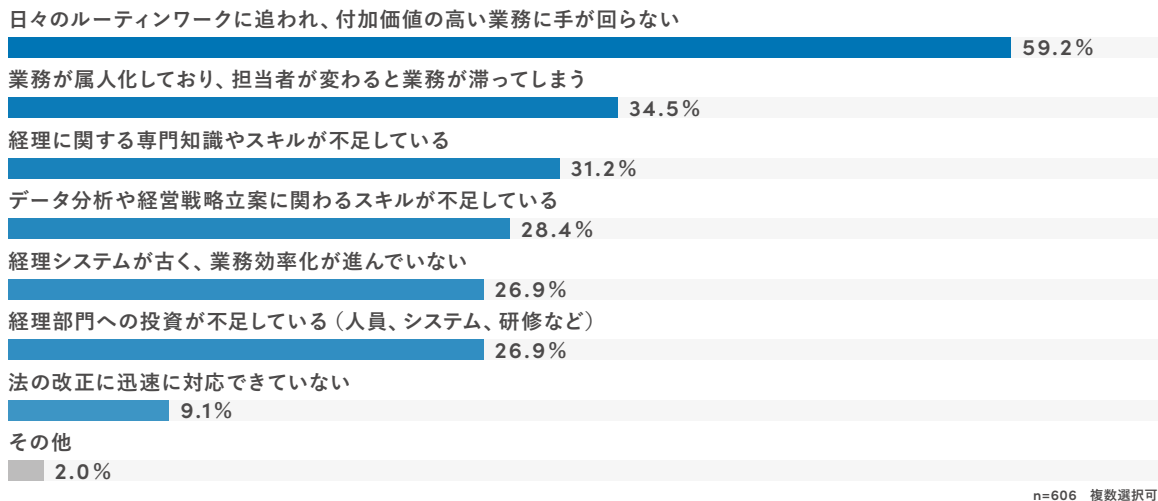
## 付加価値の高い 重要な役割の実現

Q：経理部門として付加価値の高い重要な役割を、あなたは実現できていると思いますか。



半数以上の人が付加価値の高い重要な役割を実現できていないと感じている。

Q：「実現できていない」と考える原因は何ですか。



付加価値の高い重要な役割を実現できていない原因として、「日々のルーティンワークに追われているから」と回答する人が明らかに多い。

# 付加価値が高いと考える業務に対する時間の捻出

P.5「特に時間を要している業務」の順位が、P.10「<sup>かいり</sup>経理部門にとって付加価値の高い重要な役割だと考えている業務」の順位とどのくらい一致しているのか、または乖離しているのかを比較した。従業員規模別、および全体の調査結果をそれぞれ掲載する。

■ 時間を要している業務(全17項目) ■ 付加価値が高いと考える業務(全18項目) ※「特になし」を除いた順位

従業員数 50~199人	時間	付加価値	従業員数 200~499人	時間	付加価値
経費精算	1位	11位	経費精算	1位	10位
売掛・売上管理	2位	4位	財務諸表の作成	2位	3位
買掛・支払管理	3位	10位	売掛・売上管理	3位	8位
銀行振込等支払い処理 (FB)	4位	14位	買掛・支払管理	4位	11位
財務諸表の作成	5位	2位	財務分析と戦略立案	5位	1位
		n=328			n=211
従業員数 500~999人	時間	付加価値	従業員数 1000~2999人	時間	付加価値
経費精算	1位	11位	財務諸表の作成	1位	3位
財務分析と戦略立案	2位	1位	財務分析と戦略立案	2位	1位
財務諸表の作成	3位	3位	予算策定	3位	2位
売掛・売上管理	4位	10位	経費精算	4位	12位
予算策定	5位	2位	会社法に基づく決算書作成	5位	4位
		n=114			n=213
従業員数 3000人	時間	付加価値	全体	時間	付加価値
財務分析と戦略立案	1位	1位	経費精算	1位	11位
経費精算	2位	7位	財務分析と戦略立案	2位	1位
予算策定	3位	2位	財務諸表の作成	2位	3位
財務諸表の作成	3位	2位	売掛・売上管理	4位	7位
売掛・売上管理	5位	7位	買掛・支払管理	5位	10位
		n=218			n=1084

従業員規模が多くなればなるほど、「特に時間を要する業務」と「付加価値が高い重要な役割だと考えている業務」の乖離が小さい。「経費精算」は従業員規模によらず、時間を要する業務とされている。また、「全体」と「従業員規模別」の結果を比べたところ、その結果は大きく異なっている。

## 第 3 章

# 経理の働き方と年収の関連性

柔軟な働き方と付加価値の高い重要な役割の関連性

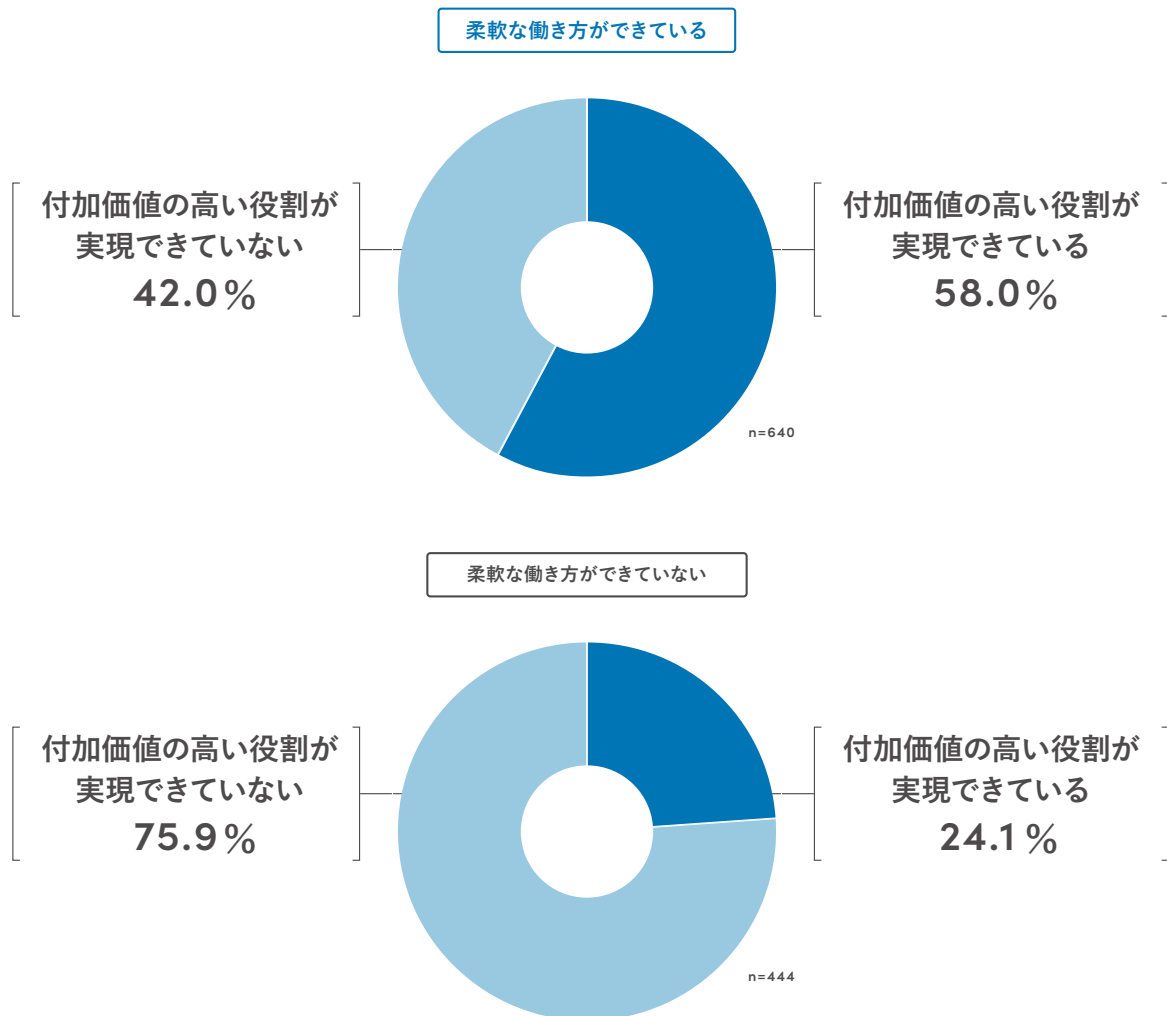
柔軟な働き方と年収の関連性

付加価値の高い重要な役割と年収の関連性

柔軟な働き方、および付加価値の高い重要な役割と年収の関連性

## 柔軟な働き方と 付加価値の高い重要な役割の関連性

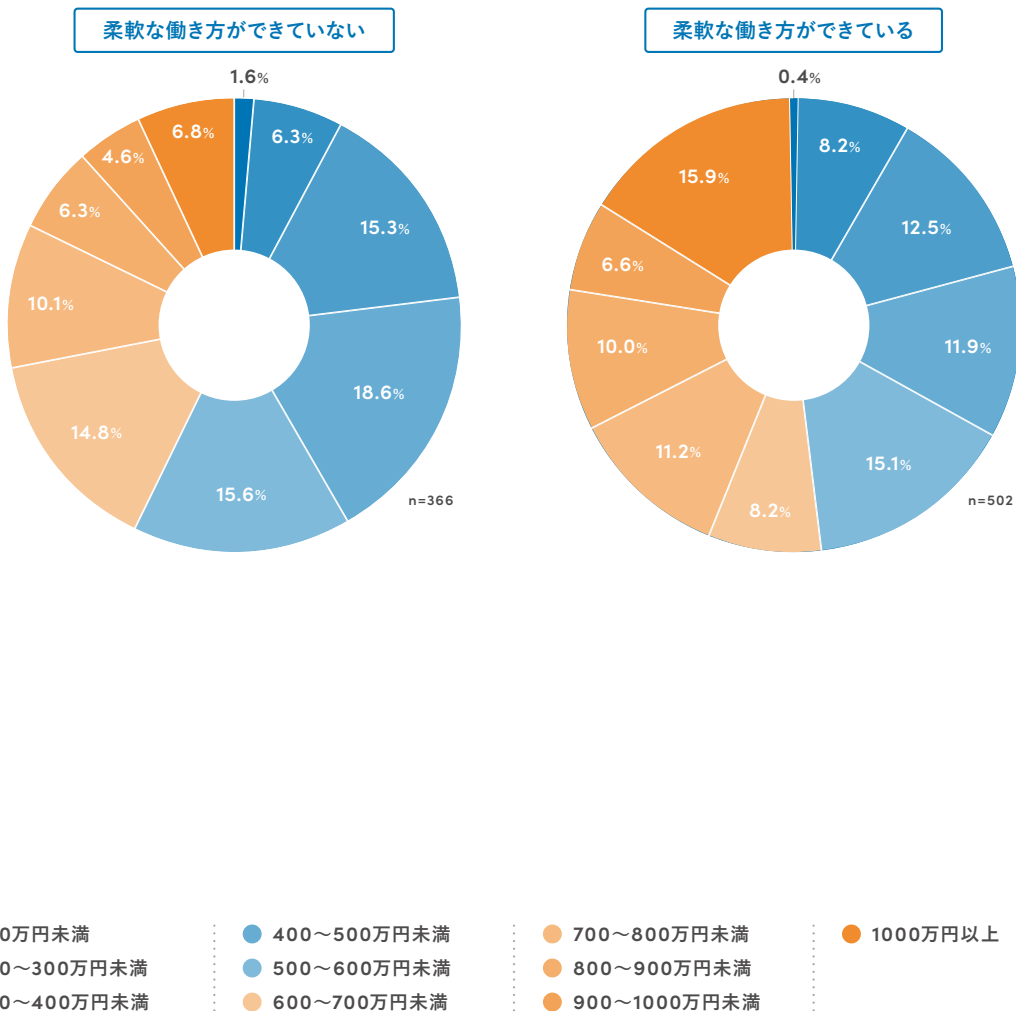
P.4「柔軟な働き方ができているか」とP.11「経理部門として付加価値の高い重要な役割を実現できているか」の調査結果を基に、両者の間にどのくらい関連性があるのかを調査した。それぞれの結果を掲載する。



「柔軟な働き方ができている」と答えた人は、約6割の人が付加価値の高い役割を実現できていると感じている。一方、「柔軟な働き方ができていない」と答えた人は、7割以上の方が付加価値の高い役割を実現できていないと感じている。

## 柔軟な働き方と年収の関連性

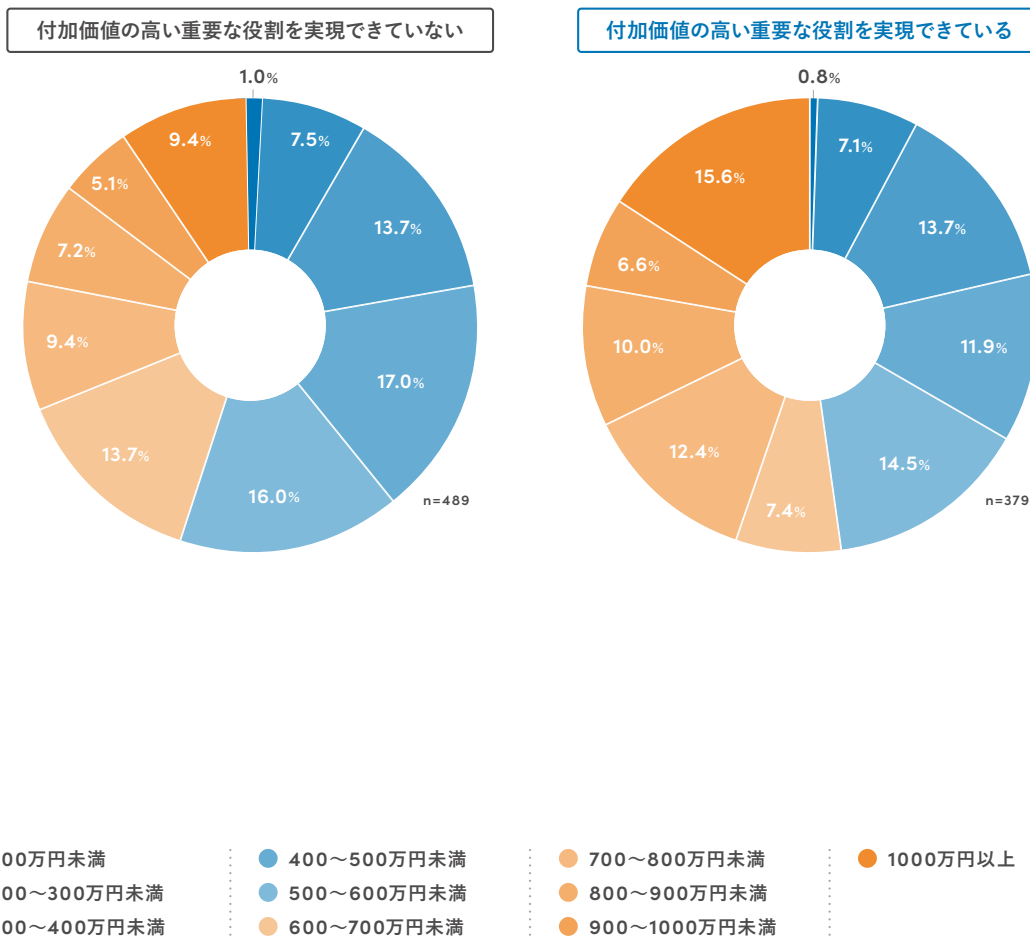
P.4「柔軟な働き方ができているか」による年収への影響がどのくらいあるのかを調査した結果を掲載する。



「柔軟な働き方ができている」と答えた人は、「柔軟な働き方ができていない」と答えた人に比べて、600万円以上の割合が9.3%多い。

## 付加価値の高い重要な役割と 年収の関連性

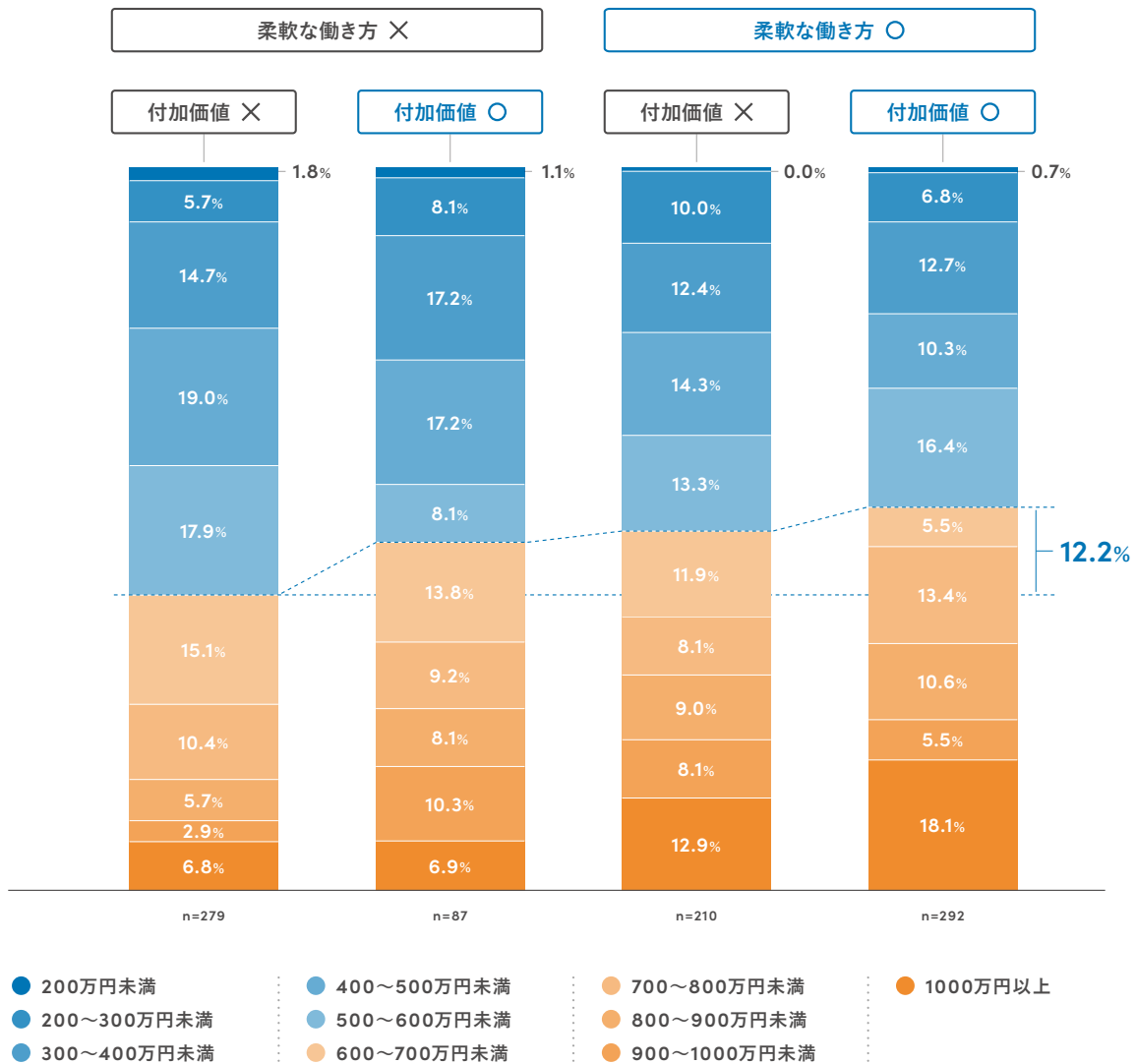
P.11「経理にとって付加価値の高い重要な役割を実現できているか」による年収への影響がどのくらいあるかを調査した結果を掲載する。



「付加価値の高い重要な役割が実現できている」と答えた人は、「付加価値の高い重要な役割が実現できていない」と答えた人に比べて、600万円以上の割合が7.2%多い。

# 柔軟な働き方、および付加価値の高い重要な役割と 年収の関連性

P.15およびP.16の結果を掛け合わせて、「柔軟な働き方」と「付加価値の高い重要な役割の実現」が年収にどのように影響を与えているのかを調べた。回答結果によって4群に分け、調査結果を掲載する。



「柔軟な働き方ができている」および「付加価値の高い重要な役割が実現できている」人は、どちらもできていない人に比べて、600万円以上の割合が12.2%増えている。また、どちらか一つでも実現できている場合も年収は増える傾向にある。

## 刊行に寄せて

経理部門の日々の業務が本来どのような意味や役割を持っているのかを見つめ直すことで、限られた時間の中で、どの業務により多くの価値があるかを考える視点が生まれます。本白書では、世の中の経理部門が柔軟な働き方を実現しつつ、付加価値の高い業務とどのように両立しているのか、また、今後ますます求められるとされている「戦略業務」へのシフトが、実際に進んでいるのかを明らかにしました。

経理部門の皆さまが日々取り組まれている業務の多くは、企業の土台を支える重要な役割を担っています。その一方で、経営環境の変化やデジタル化の進展により、経理部門にもこれまでとは異なる視点や働き方が求められるようになってきました。経理部門がオペレーション中心の存在から一歩進み、経営に積極的に関わるパートナーとしての役割を果たしていくためには、業務の再構築や、社内における期待される役割を再定義する必要があります。

本書が、これからの経理部門の在り方を考えるきっかけとなり、日々の業務の中に新たな気付きや可能性を見いだす一助となれば幸いです。

「経理の働き方白書」編纂委員会

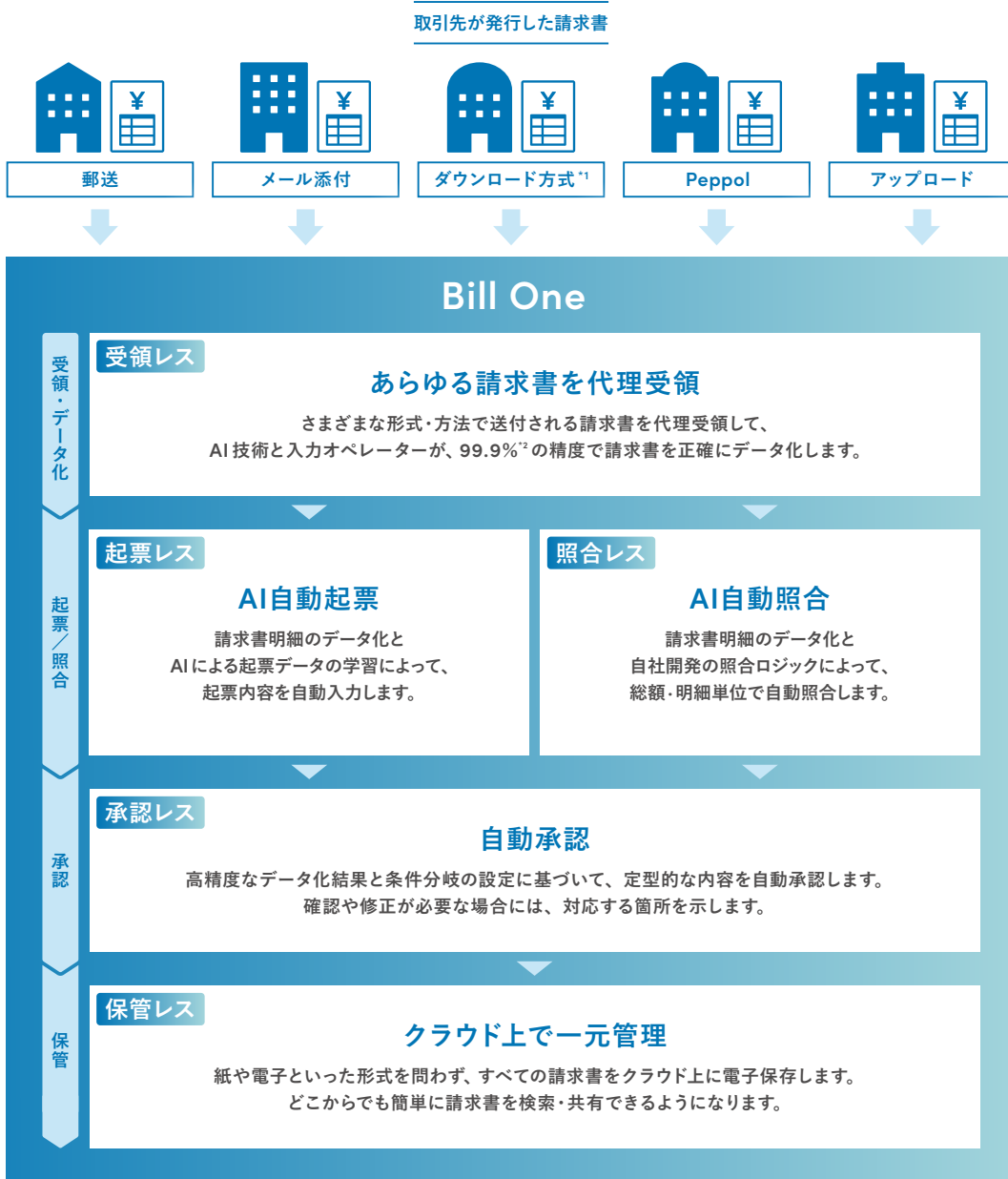
「なくせる」をつくり、全社の働き方を変える

# Bill One 請求書受領

あらゆる請求書を代理受領し、AI技術とテクノロジーで自動化を実現することで、

請求書業務のプロセスに「なくせる」をつくります。

経理部門だけでなく、全社の働き方を変えていく、これまでにないクラウド請求書受領サービスです。



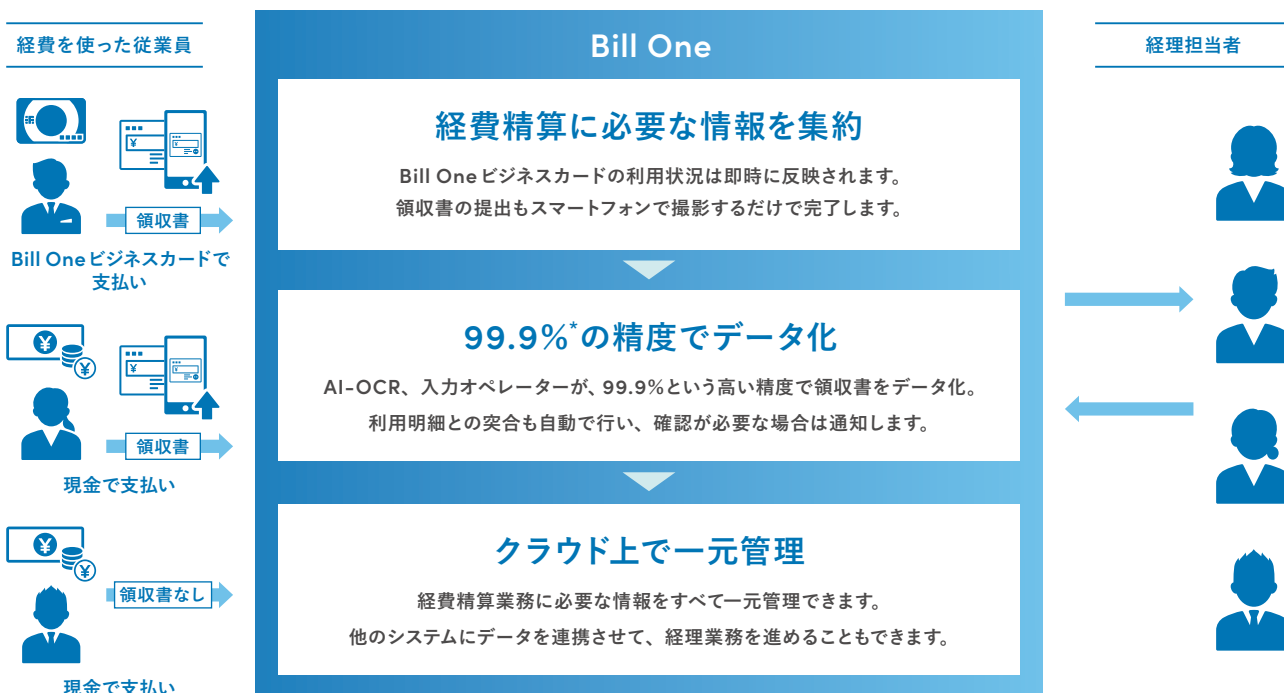
\*1 請求書ダウンロードサイトの仕様や変更、メンテナンスなどにより受領できない場合があります

\*2 Sansan株式会社が規定する条件を満たした場合のデータ化精度

立替経費をなくし、月次決算を加速する

# Bill One 経費

全社員の経費の支払い方法を専用のカードに切り替えることで、  
従業員による経費の立替払いをなくします。  
これまでにない経費精算を実現する、クラウド経費精算サービスです。



\* Sansan 株式会社が規定する条件を満たした場合のデータ化精度

## 3つのメリット



経費の立替払いを  
なくせる



オンラインで  
経費精算を完結できる

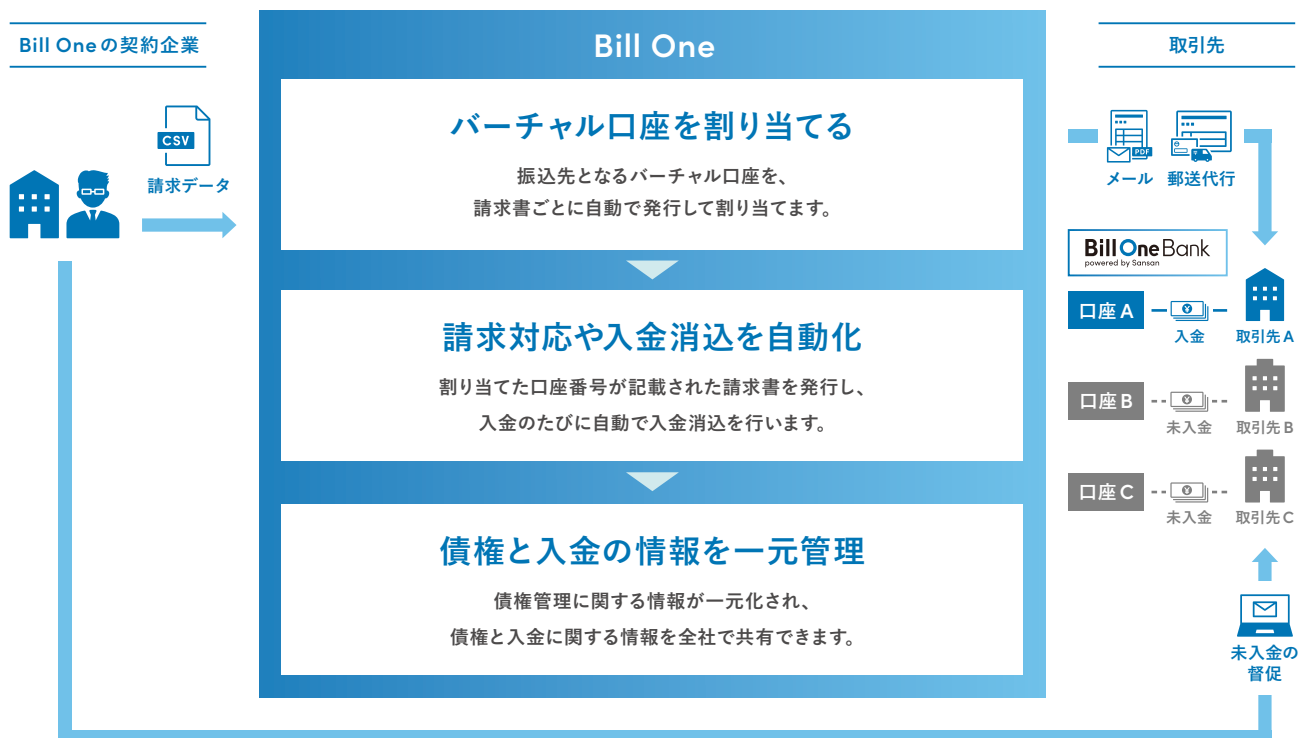


法対応と  
業務効率化を実現

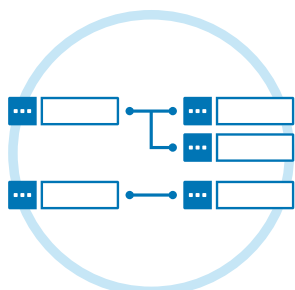
リアルタイム入金消込で、現場を強くする

# Bill One 債権管理

バーチャル口座の割り当てから入金消込まで、全社にまたがる業務の自動化を実現し、  
経理部門だけでなく事業部門を含めた、債権管理に関する全社の体制を強くします。  
入金の状況がリアルタイムで反映される、これまでにないクラウド債権管理サービスです。



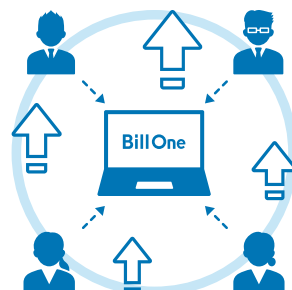
## 3つのメリット



あらゆる入金消込を  
自動化する



債権と入金の情報を  
一元管理できる



社内の連携が  
スムーズになる

# Bill One

powered by Sansan

<https://bill-one.com/>

お問い合わせ先

**bill-one@sansan.com**

 **0800-100-9933**

Sansan株式会社 [本社] 〒150-6228 東京都渋谷区桜丘町1-1 渋谷サクラステージ28F

デモ依頼やお見積りについては、お気軽にお問い合わせください

**sansan**